

一、中央委員會決定ノ要綱

慶祝承認大會中央委員會は第四十六次國務會議の議決に基き數次の打合せを遂げた上全國的慶祝承認大會舉行に關し九月十八日左の如く決定した。

中央委員長	張實業部長
委員	金新京市長
	(橋口總務處長、馬秘書官代理)
	史新京總商會代表董副會長
	朱外交部總務司長
	川崎外交部宣化司長
	中野民政部總務司長兼協和會理事
	黃民政部地方司長
	上村文教部總務司長
	白濱興安總署總務處長

協定事項

皆川總務廳秘書長

一、意義

日本の我國承認を慶祝し

國家精神を振興鼓舞し

列國の承認を促進す

一、名稱 慶祝承認大會

一、日期 大同元年十月八日（陰曆九月九日重陽節）

一、國內一般的に行ふべき事項

(一) 各戸に於て國旗を掲揚すること

(二) 各官公署、各學校に於ては慶祝式を舉行すること

祝詞

國旗に向て敬禮

執政の教書恭讀

總理の訓辭誦讀

(三) 紀念標語及慶祝傳單を撒布

(四) 旗行列、演劇等各地方の情況に照して適宜に之を行ふ。

一、左記各主要都市に於ては右の外慶祝演說會を催すこととし當該市當局總商會協和會及各法團中心となつて之を行ふ。

新京、奉天、哈爾濱、齊々哈爾、吉林、安東、營口、錦州。

一、各省及上記各都市に對しては適當と認める範圍の便宜を與ふ。

一、標語及傳單は中央委員會實行委員に於て之を制定す。

一、各省、縣、各學校に對しては民政文教兩部より訓令を發する。

二、新京慶祝承認大會

(十月八日(重陽節)
會場民政部前廣場)

式 次

一、官民一同入場

- 一、奏 樂
- 二、掲 揚 國 旗
- 三、向國旗三鞠躬禮
- 四、開 會 之 辭 新 京 特 別 市 長
- 五、恭 讀 執 政 教 書 執 政 府 代 表
- 六、國 務 總 理 訓 辭
- 七、祝 辭 外 交 部 總 長
全權代表
- 八、演 說 協 和 會
- 九、議 決
- 十、萬 歲 三 稱
- 十一、閉 會 之 辭 新 京 特 別 市 長

旗 行 列

慶祝大會後（午前十一時）直に旗游行を行ふ。

一、參加者

滿洲國側

官吏 約千人 各法團員 約五千人

長春縣四鄉代表 約三千人 各公立學校 約三千人

軍人 約三百人 一般市民 約一萬人

日本側

各學校生徒 二千人

二、行列順序

1 總指揮官 (軍政部長乘馬)

2 副指揮官

行列取締 (公安局員及消防隊員)

2 軍樂隊

3 學校關係

滿洲國側

市立各小學校 縣立小學校 私立各小學校 縣立女學校 私立女學校

縣立師範學校 縣立中學校

日本側

商業學校 室町小學校 西廣場小學校 普通小學校 公學校 女學校

4 官吏

5 各法團代表

6 一般市民

三、途 順 (游行線路)

會場起(民政部前)→大經路→西公園→中央通→長春驛前→日本橋通→國務院前→執政府→六馬路→大馬路→頭道街→塘子胡同→大經路→民政部前(會場)→解散

新京慶祝宴會 八日午後三時

時間 十月八日午後三時

會場 於西公園陸上運動場

順序

主催者挨拶 市長

中央委員會委員長挨拶 張實業部總長

來賓挨拶

開宴

餘興 奇術其他

餘興

一、演劇

時間 午後六時より十二時

會場 新京大戲院 燕春茶園 龍春茶園

二、高脚會及旱船會

時間 正午より夜十時まで

三、龍燈會

時間 午後七時より十時まで

夜間は爆竹を以て氣勢を揚ぐ

四、活動寫真開映

時間 午後七時より九時まで

会場 於慶祝大會々場

催物

講演會を開催

時間 午後一時より四時まで

午後七時より十二時まで

会場 市内各街各所並に劇場

演説者 教育關係者

宣傳

八

1285

一、彩車六臺

一、飛行機より傳單を撒布（秘書處擔當）

一、ポスターノ市街貼付及撒布

一、人力、馬車等國旗掲揚及傳單を貼付（人力、馬車夫添國幣一角分給）

裝 飾

一、各戸國旗掲揚

一、出来る丈美觀を裝飾すること

其 他

一、ラジオ放送（外交部擔任）

三、新京慶祝承認大會

滿洲國三千萬の民衆と友邦國二十萬の日鮮人を擧げて待ちに待つた承認慶祝大會の當日は來た前日來市當局の努力に依つて萬般の準備が進められ新京全市は日滿兩國旗と慶祝紀念ポスターに依つて埋められ往來の

馬車、自動車、人力車は日滿兩國の小旗を交叉し慶祝の歡喜に燃へた市民は朝來の秋雨にもめげず續々と民政部前の會場に詰めかけ定刻前にはその數一萬を越へ間斷なく打ち揚げられる烟火と低空を去來して祝賀傳單を撒布する飛行機數臺の爆音は彌が上にも大會氣分を高潮し正面の演臺には鄭國務總理、張慶祝承認大會中央委員長以下執政府、並に各部院要人殆んど全部臨席し、會場には新生の意氣に燃へ立つ市民大衆と各學校男女學生、軍人、官吏各法團代表等が降りしきる秋雨の中を定め的位置につく午前九時半莊重な奏樂につれて大會の幕は切て落され國旗掲揚全員國旗に向つて三鞠躬の禮をなし次で金新京特別市長開會の辭を述べ執政府代表（實内務處長）執政の致書を恭讀し次で鄭國務總理老軀を運んでマイクローホンの前に立ち潮の如く場内外に參集した市民の前に眞摯熱誠の態度を以て訓辭を朗讀、更に張中央委員長中央部を代表して挨拶をなし終て謝外交總長、武藤大使代表（栗原書記官）、樺岡時局後援會長等の祝辭あり市民代表の演説に次ぐ臨時動議提出に依て怒濤の如き歡呼の裡に別項決議を爲し即時英、米、佛、伊、ソビエツトロシア及波蘭等七ヶ國政府外相に宛て打電することに決定終つて金市長の發聲で滿洲國萬歳を三唱し十時半熱と感激に充ちつた大會は終り直ちに旗行列に移る、道の兩側は保安警察隊に依て警備され警衛軍々樂隊を先頭に市、縣立小學校、縣立女學校、私立小、中、女學校、縣立師範學校、日本側商業學校、女學校、各小學校及公學校學生に次ぐ官吏、各法團代表一般市民の順序で會場を練り出し西公園前を通過して中央通りに出で豫定

のコースをとつて日本橋通りに出で國務院前に至つた此頃に至つて雨は益々降り加はり到底行列を續けること困難なので茲に豫定を變更して行列を打切ることとし全體人員萬歳を三稱して解散した時將に正午、時を經るにつれて益々降り加わる雨の爲、道は阻まれ手旗さへ打落される始末で此の日の行列は非常な困難に遭遇したのであるが新生の意氣高らかに行進する全市民の潑刺たる元氣は之に依て何等衰へを見せず中にも可憐な男女數千の學生が全身に降り注ぐ大雨にもひるまず、大會のスローガンを高唱して最後まで行を共にしたのは滿洲國の將來の爲力強く感ぜられ内外人に多大の感動を與へた。此日全市に亘つて高脚節、芝居、籠燈會活動寫眞の催しあり全市民は業を休んで心からなる慶祝に一日を過した。

更に午後六時四十分からラジオを以て滿洲國全土に對し當日各地に於ける慶祝大會の實況放送あり同八時四十分からは日本に對し日本語を以て新京始め各地の慶祝狀況を放送した。

四、教 書

二二

我新國家勦建セラレ茲ニ數月、日本帝國ノ首先承認シ我國民ノ意思自由ニ、獨立國家ヲ成立シタルヲ確認シ、世界國家團體間ニ、一新紀元ヲ開キタルハ、是我國人ノ當ニ引テ慶幸トスヘキ者也、我滿洲ハ山川形勝、物産豐饒、屹然トシテ亞洲ノ東北大部ニ據ル、我三千萬民衆ノ體質智力ヲ以テ奮發經營セハ、洵ニ以テ樂土ヲ建爲スルニ足ル、惟タ是作始ノ際經緯萬端ニシテ、憂患ノ紛紜機牙ノ環伏アリ、正ニ當ニ困心衡慮シ、邁進ノ精神ニ基キ、以テ我王道ノ趣旨ヲ發揮スヘシ。庶クハ亦日本帝國親善ノ期望ニ負クナカラシカ、願クハ我國人咸共ニ之ヲ勉メヨ。

大同元年十月八日

執 政

1289

五、總理訓辭

古來士冠ノ禮有リ、男子年二十ニ及ヒ、賓ヲ延ヘ冠ヲ加フ禮節隆重ナリ、未タ冠セサルハ之ヲ童子ト謂ヒ、既ニ冠セルハ之ヲ成人ト謂フ、其祝辭ニ曰ク、爾ノ幼志ヲ棄テ、爾ノ成徳ニ順ヒ、即チ其ノ言フトコロハ、道徳ヲ養成スレハ、以テ賓客ニ應接シ、家事ヲ經理スヘント、此レヨリ以後皆成人ヲ以テ相待ツカ故也、國家立國ノ始、亦及年ノ男子ノ如シ、紀綱稍々定マリ、規模粗ホ立テハ、此レヨリ列國ト周旋スヘシ、若シ果シテ用人行政百事具ニ興レハ、友邦ハ必ス更ニ敬重ヲ加ヘ、名譽ハ當世ニ顯ハレ、功業ハ將來ニ垂レン、今滿洲國建國以來半年ニ過キス、一切ハ多ク未ダ完備セズ、而シテ大日本帝國ハ、首先シテ承認シ、全權ヲ派遣シテ來京定約ス、此レ眞ニ日本ノ義ニ仗ルノ舉ナリ、世界各國ハ、未タ信ヲ盡サスト雖モ、吾レ料ルニ久シカラスシテ必ス相信スヘシ、但外人ノ相信スルト相信セサルトハ、虛名ニ在ラスシテ事實ニ在リ、日本ハ滿洲國ニ對シ、既ニ已ニ義ニ仗ルコトヲ先ニ表ハス、必ス利ヲ争フコトヲ後ニ至ラシメス、此レ吾人ノ以テ深ク信スヘキ者也、若シ我滿洲國々家ニシテ王道ヲ實行シ、種族ノ争無ク人民ヲ保衛シ、事業ヲ發展シ門戸ヲ開放シ、機會ヲ均等ナラシメ前日ノ宣言ヲシテ字々做ニ到ラシメハ此レヨリ以後、干頭萬緒、凡テ國內ノ眞才實學ノモノ、出テ、

提唱ヲ爲スニ頼リ、舉國民衆ハ發揚奮厲、人々振作シテ盡ク以前ノ惡習ヲ除キ、盡ク新國家ノ人物ト成ラハ、則チ滿洲國ノ名譽ハ世界ニ飛騰スヘシ、此レ吾人ノ敢テ自ラ信スル所ノ者也、現在滿洲國家ハ便チ既冠ノ男子ニシテ、年力精銳氣體雄強ナリ、願クハ我國人、人後ニ落ヅルコトナカラシメ今日盛典ヲ慶祝スルニ當リ、切ニ此語ヲ忘ラズヘカラス之ノ勉メヨ、之ヲ勉メヨ。

大同元年十月八日

國務總理 鄭 孝 符

六、金新京市長ノ開會辭

去月十五日、我滿洲國カ、鄰邦大日本帝國ニ依テ正式ニ承認サレテ以來已ニ二十餘日、コレニ依テ我滿洲國ハ世界ニ於ケル獨立國家ノ一トシテ國際社會ニ列スルニ至ツタ譯テ實ニ光榮コレニ過キス、衷心歡喜ニ堪ヘナイトコロテコソイマス、新京各機關、各法團及全市民ハ此光榮並ヒニ無上ノ歡喜ニ對シ何等カ適當ナ方法ニ依ツテ之ヲ表示シ度イト存シ先般來市政公署ヲ中心ニ各機關、各法團協力シテ本日此慶祝承認大會ヲ催ス運ヒトナツタ次第テコソイマスカ私ハ本大會ハ大體

一、コレニ依テ、我滿洲國カ獨立國家トシテ國際間ニ列スルヲ得タコトヲ慶祝シ

二、大日本帝國ノ熱烈ナル援助ト深厚ナル友情ヲ感謝シ

三、世界各國ニ我滿洲國民全體ノ熱意ヲ示シ我國ノ實情ニ對スル明確ナ認識ヲ持タシメテ以テ列國ノ

我國承認ヲ促進スル

以上三ツノ目的ヲ持ツテ居ルト思フノテコサイマス、本日ハ舊曆ノ重陽節テアリ習俗ニ所謂高キニ登ル日テ私ハ必ラスヤ、我滿洲國カ今日以降歩一歩高キ地位ニ向ツテ前進シ、ヤカテハ世界ニ於ケル最高ノ地歩ヲ占メルニ至ルテアラウト信シテ居ルノテコサイマス、承認ノ意義並其價值及國民ノ覺悟等ニ就テハ執政ノ教書、總理ノ訓辭及各代表ノ訓示等ニ依テ明白トナリ私カ更メテ申上ケルマテモナイコト、存シマスカ、本會ハ準備期間ソノ他ノ關係上設備萬端不行届テ此點主催者トシテ切ニ來賓各位並ニ一般市民諸位ノ御寛恕ヲ御願スル次第テコサイマス。

大同元年十月八日

新京特別市長 金 鑒 東

七、張中央委員長ノ挨拶

一六

本日ハ、我滿洲國ガ日本帝國ノ承認ヲ得、全國ヲ舉ケテ慶祝大會ヲ行フコトニナツタ佳日デコサイマス、昨年九、十月頃ヲ回想致シマスルニ人心徨々トシテ、舉國不安ニ包マレテ居タノデコサイマスカ、僅カ一年間ニ新國家ノ建設ハ完成サレ國際的地位ヲ獲得シテ愈々和平ヲ保持シ善政ヲ行フ段取ニマテ立至ツタノデコサイマス、此勢ヲ以テスレハ我滿洲國ガ東方ノ樂園ト化スノ日モ蓋シ遠クハアルマジク、ソノ結果ハ當ニ滿洲國人カ太平ヲ賀グノミナラス此領土内ニ生シ營ム各民族カ均シクソノ恩惠ニ浴スルコトヲ得ル譯デ誠ニ欣快ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、然シ乍ラ此大業ハ決シテ吾々ノミノ力ヲ以テ遂ゲラレタノデナク今尙日本軍方匪賊ノ討伐ヲ續行シ各地ノ治安維持ニ當ツテ居ルコトハ全國人民周知ノ事實デゴザイマス、昨年事變勃發ノ當時日本軍ハ全力ヲ舉ゲテ舊軍閥討伐ニ當ツタノデゴザイマスガ、ソノ後吾々ノ事業ヲ理解シ曾テ衝突ニ用イタカノ全量ヲ舉ゲテ協力ニ盡サレタ爲ソノ効果ハ實ニ目覺マシク我國ノ建設ハ此クモ迅速ニ實現サレタノデゴザイマス、鄰邦日本ガ今同萬難ヲ排シテ我國ヲ承認サレタコトハ吾々滿洲國民トシテ、感激ニ堪ヘナイトコロデゴザイマスガ此場合忘レテナラナイノハ世界ニハ尙ホ我國ヲ承認シテ居ナイ幾多ノ強大國ガアルコトデソノ承認ヲ得ベキ責任ハ懸テ吾等三千萬民衆ノ双肩ニアルノデゴザイマス、而シテ吾々ハ列國ニ對

1293

シソノ承認ヲ希望スル一方須ラク自ラ獨立國トシテノ實力ヲ持クテハナリマセン、日本ハ新國家ノ成立ニ當リ全力ヲ擧ゲテ吾々ヲ援助シタノミナラズ今次率先シテ我國ヲ承認シタノテコサイマスカ日本トシテモ今後何時マテモ吾々ヲ支持スルト云フコトハ困難テ吾々ハトウシテモ今後自ラノ努力ニ依テ國家ノ獨立ヲ保持シ、自力ニ依テ列國ノ我新與國家ニ對スル認識ヲ深カラシメ以テ承認ノ氣運ヲ促進スヘキゾソノ曉ニ於テコソ我建國ノ事業ハ本當ニ完成サレタト云ヒ得ルノテコサイマス、私カ此機會ヲ藉テ諸君ニ申上ケタイノハ今日以降吾々ハ已ニ立派ナ一獨立國家ノ人民トナツタノテアル故ニ吾々ハ須ラク一段ノ努力ヲ以テ我滿洲國ノ國際的地歩ヲ高メ我國ヲシテ動カスコトノ出來ナイ國際的一存在タラシメ以テ鄰邦日本ノ今日マテノ愛護ト援助ニツイテノ苦心ニ背カサルヤウ全國民ノ國民的自覺ニ依テ建設ニ努力スヘキテアルト言フ一事テコサイマス。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

中央委員長 張 燕 卿

一七

1294

八、謝外交總長ノ祝辭

本日ハ我滿洲國全體カ舉テ日本帝國ノ吾新國家承認ヲ慶祝スル良キ日デアリ親シク此ノ盛儀ニ參列スルヲ得タコトハ不肖私ノ欣幸トスルトコロテコサイマス、我滿洲國ハ建國已ニ半載ヲ迎ヘ三千萬國民ノ久シク渴望セル正式承認ハ今ヤ幸ニシテ鄰邦日本帝國ニヨリ世界各國ニ率先シテ實現サレタノテコサイマス、コレニ依テ我滿洲國ハ一個ノ獨立國トシテ國際間ニ列スルヲ得、以テ國基ハ鞏固トナリ民心ハ安定ヲ得ルニ至ツタノテコサイマスカ、コレハ偏ヘニ日本朝野ノ熱誠ナル援助ノ賜物ト衷心感謝ニ堪ヘナイ次第テコサイマス此紀念スヘキ日ニ於テ私ハ先ツ

第一、我國ハ政治ヲ修明シ全國人民カ熙々攘々トシテ王道樂土ニ沐浴スルコト

第二、滿日兩國ハ十二分ニ互助ノ精神ヲ發揮シ以テ一切ノ利益ヲ發展セシメルコト

第三、東亞及世界恒久ノ和平確立ニ盡スコト

ソ希望スルモノテ願クハ我國全體官民カ以上ノ希望ヲ共同ノ目的トシテコレカ實現ヲ期シ、以テ今日ノ慶祝ノ眞實ノ意義ニ背カサランコトヲ切望スルモノテコサイマス

大同元年十月八日

外交總長 謝 介 石

九、武藤大使(代表)ノ祝辭

本日滿洲國承認祝賀ノ式典ニ當リ茲ニ祝意ヲ表スルノ機會ヲ得マシタ事ハ本使ノ誠ニ欣快ニ存ズル所デア
リマス

本年三月一日貴國ハ住民一般ノ自由ナル意思ニ基キ建國ノ宣言ヲ發セラレマシタカ貴國ハ其ノ後右宣言ノ
大精神ニ期リ全般ノ施設制度ヲ改良シ一般住民ノ安寧福祉ヲ計リ着々トシテ實踐ヲ舉ケ居ラル、ニ對シテハ
本使ノミナラス日本國民ノ秘カニ敬服シテ居ル所デアリマス

曩ニ日本帝國カ諸外國ニ率先シテ貴國ヲ承認スルニ至リマシタ所以ノモノハ云フ迄モ無ク貴國官民ノ努力
ニ依リ貴國カ國家トシテノ基礎ト實質トヲ完備セラレタル顯然タル事實ト貴我兩國ノ歴史的特種關係トニ鑑
ミル所アリタルカ爲デアリマス之ニ依リ貴我兩國ハ兄弟ノ誼ヲ結ヒ一心協力以テ兩國ハ勿論東亞全局ノ平和
ト繁榮トヲ達成セントスルノ大目的ニ向フコトヲ得ルニ至ツタノデアリマス

然ルニ世界ノ或ル方面ニ於テハ貴我兩國ノ關係ニ付誤レル認識ノ下ニ種々ナル憶測ヲ下シ甚タシキニ至リ
テハ滿洲國ノ嚴然タル存在ヲモ否定スルカ如キ意向ヲ公然發表スル向モアリマス

然シ斯ル意向ニ對シ我等ハ寸毫モ之ヲ齒牙ニ掛クル必要無キ事ハ私カ此處ニ改メテ申ス迄モ無キ所デアリ
マス我々ハ日滿議定書ニ明定スル處ノ既定ノ大方針ニ依リ不動ノ決意ト崇高ナル理想トヲ以テ一路邁進スル
ノミデアリマス

聊カ本使ノ所感ヲ述ヘテ祝辭ト致シマス

昭和七年十月八日

特命全權大使 武藤信義

一〇、決 議

日本帝國ハ本年九月十五日正式ニ我滿洲國ヲ承認シコレニ依テ我國ノ安固ハ保障サレ人民ノ希望ハ既ニ實
現サレタルヲ以テ我滿洲國人民ハ今後全力ヲ擧ケテ極東平和ノ建設ニ努力スヘシ茲ニ新京市民ハ慶祝承認大
會ノ機會ニ當リ貴國朝野カ法ヲ設ケテ援助シ、我國人民ノ偉大ナル目的ヲ完成センメンコトヲ望ム

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會 新 京 總 會

右決議は左記各國外務大臣宛即日打電した、

米國、英國、佛國、伊太利、獨逸、ソビエツトロシヤ、波蘭、
更に張中央委員長は全滿洲國慶祝承認大會を代表し外交部を通して齋藤總理大臣以下日本政府各關係大臣
並軍事參議官に宛て左の如き謝電を發した

謝電

日本帝國ノ正式承認ニ依リ我國ノ獨立ハ保障サレ内治外交愈々正軌ニツキ王道樂土ノ建設期シテ俟ツヘキ
モノアリ茲ニ本日開催ノ全國慶祝承認大會ヲ代表シ、閣下並ニ貴國官民全體ノ熱誠ナル御支援ニ對シ深厚ナ
ル謝意ヲ表シ併セテ將來、極東平和確立ノ爲一層ノ御協力ヲ切望シテ止マス

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會
中央委員長

張 燕 卿

齋藤總理大臣閣下
内田外務大臣閣下
荒木陸軍大臣閣下

本庄軍事參議官閣下

武藤全權大使閣下

一一、新京ニ於ケル慶祝宴

金新京特別市長主催の慶祝宴は午後三時から長春附屬地高等女學校講堂に於て開催され滿洲國政府、新京特別市、滿鐵、關東軍、其他各機關の日滿要人千餘名並に恰も來京中の日本貴族院議員一行を加へて未曾有の盛會を極め劈頭金市長より大要左の如き挨拶を述べ、次で張中央委員長の挨拶及來賓代表栗原書記官の謝辭あり終つて、奇術、手品その他の餘興あり五時近く歡を盡して散會した。

金特別市長ノ挨拶

本日ハ此ク多數ノ光臨ヲ賜リ特ニ御來京中ノ日本貴族院議員諸位ノ御臨席ヲ得マシタコトハ主催者側トシテ誠ニ光榮ノ至リテ感謝ニ堪ヘナイ次第テコサイマス、折角御招キ致シ乍ラ何等ノ設備ナク粗酒粗肴誠ニ慚愧ノ至リテコサイマスカ、不行届キヲ顧ミス心カラ此佳キ日ヲ慶祝シタイト念スル吾々ノ微意ヲ御酌ミ下リ

レ裕クリ御清談ヲランコトヲ御願致シマス。玆ニ諸位ノ御來臨ヲ謝シ併セテ御健康ヲ祝福致シマス。

大同元年十月八日

新京特別市長 金 璧 東

張中央委員長ノ挨拶

全權大使代表並ニ來賓各位、不肖本日ノ慶祝大會中央委員長トシテ一言御挨拶ヲ申述ヘマス、本日ハ生憎多少ノ降雨ハアリマシタカ午前中盛大ナル典禮ヲ無事終了スルヲ得マシテ寔ニ御同慶ノ至リニ存シマス、雨天ニ拘ラス右大會ニ現レマシタ、我滿洲國官民ノ熱誠ナル意氣ハ必ラスヤ世界各地ニ甚大ナル反響ヲ喚起スハキコトヲ確信致シマス、此祝宴會場ハ甚タ手狭デアリ且ツ設備萬端不行届テハアリマスカ御互ニ慶祝ノ誠意ヲ披瀝スルニハ充分ト存シマス、玆ニ杯ヲ舉ケテ日本帝國ノ滿洲國承認ニ對シ滿腔ノ謝意ヲ表シ兼テ我大滿洲國ノ前途ヲ祝福致スト共ニ全權大使代表並ニ御臨席ノ來賓各位ノ御健康ヲ祝シタイト思ヒマス。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

中央委員長 張 燕 卿

二三

來賓祝辭(栗原書記官)ノ祝辭

三四

滿洲國承認慶祝宴ニ御寵招ヲ頂キマシタ在留帝國官民ノ代表致シマシテ不肖私茲ニ一言御禮ノ御挨拶ヲ申上ケマス。

過般日滿議定書ノ調印ニ依リ兩國間ニ正式外交關係ヲ設定シ兩國ノ交誼ト康寧福祉ヲ圖リ得ルコトニ至リマシタノハ兩國官民ノ齊シク慶賀ヲ禁シ得サル所クルノミナラス此ノ歴史的偉業ノ無事完了ノ世界ニ向ツテ大ニ誇リ得ル次第デアリマス。

私共ハ此ノ時此ノ地ニ各位ト共ニ滿洲國承認慶祝ノ盛儀ヲ壽クコトヲ得タノヲ重ネテ無上ノ幸福ト感スルモノデアリマス、私ハ此ノ機會ニ於テ過去一ケ年餘ニ亘ル日滿兩國官民ノ努力ト相互信頼ノ誠意カ茲ニ至ツタコトヲ追懐シマシテ感慨無量ナルモノカアルト共ニ兩國ノ前途ニ横タハル幾多ノ難關突破ノ覺悟ヲ確メ進シテ東洋恒久ノ平和ヲ確保シ人類無窮ノ幸福ヲ圖ルヘク兩國官民ノ一致協力ヲ誓ヒ度イト思ヒマス。

終リニ臨ンテ本日ノ御招宴ニ對シ謹ンテ御禮ヲ申上ケ茲ニ杯ヲ舉ケテ日滿兩國ノ萬歳ヲ祝シ度イト存シマス。

二二、奉天慶祝承認大會

滿洲國各機關主催の慶祝承認大會は本八日の重陽節の佳節を下して午前九時より城内十王亭廣場に於て莊嚴に且つ盛大に舉行された、この日小雨を伴降り氣溫低下して寒さを感じさせるにも拘らずこの晴れの祝賀大會は主催者側は勿論として日本側要人續々とつめかけ約一千名の參列者があつた式場正面に設置された一段高き壇の中央には滿洲國々旗が交叉されて前面に萬國旗を張り實に清楚なる式場である、城内外の各戸にはこの承認を祝賀すべく國旗を掲揚して祝賀氣分が街頭に溢れてゐる、三千萬民衆の王道樂土とする滿洲國承認を記念すべき祝賀の日を斯くて日滿兩國國民の堅き握手と喜びによつて一層有意義たらしめた、定刻軍樂隊の奏する莊嚴なる音樂吹奏裡に滿洲國々旗は全員起立のもとに肅々と掲揚され續いて國旗に對して一同三鞠躬禮を行つた後閣市長開會の詞を述べ續いて省長代理にて趙民政廳長が執政教書、章教育廳長の國務總理訓詞の朗讀があつて日本側より武藤全權代理米澤書記官、森島總領事代理中野副領事、林滿鐵總裁代理栗野滿鐵公所長、野口居留民會長、檜崎日本側言論機關代表の各祝詞の朗讀が終つて來賓演説として徐實業廳長の演説に續いて阮奉天省公署秘書長の議決文朗讀あり警備司令代表の發聲にて滿洲國萬歲、米澤書記官發聲にて承認萬歲三唱、閣市長の閉會の詞にて式を終了し、續いて午前十一時半より省公署禮堂に於てシャンパ

ンと葡萄酒の杯を舉げて滿洲國承認を祝福した。

午後一時からは旗行列である、氣遣はれた天候も午後に入つて陽光を見て式場に當てられた十王亭廣場は國旗を先頭にして各人手に旗をもつて蟻集する日滿官民、學生、軍人一般市民日本側各學校生徒約一萬五千によつて埋められ定刻軍樂隊の奏する輕快なるマーチによつて大衆の進行が始つた旗の波である歡和せる群衆は旗を打ち振りつゝ、蜿蜒長蛇の列を作り先づ鐘樓南大街より四平街に至り小西邊門三輕路浪速河りを経て關東軍司令部(全權部)前に集合萬歲三唱の後午後三時頃この記念すべき慶祝承認滿洲國大會は有意義に閉會の幕をおろした

各國外相ニ通電ヲ發ス

別項本慶祝承認滿洲國大會決議文は奉天滿洲國承認大會委員の名を以つて英、米、獨、露、佛、伊、波蘭諸國外務大臣宛に左の如き通電が發せられた

今次日本ノ滿洲國承認ニヨリ吾カ民衆多年ノ熱望ヲ達セラレ平和安樂確立ヘノ道ハ開レタリ日本會ニ
參集セル市民ハ仁愛深キ統治者ニヨリ王道主義ニ基ケル國民精神ヲ以テ誓テ將來ノ發展ヲ期ス終リニ臨
ンテ本會ハ貴國官民諸士カ吾等ノ高遠ナル大議ニ對シ御援助サレントトフ切望ス。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

奉 天 分 會

續いて日本帝國、齋藤首相、荒木陸相、内田外相にも同國委員會の名にて左の如く滿洲國承認に對する謝電を發した。

閣下ノ絶大ナル御盡力ニヨリ滿洲國ハ貴國ノ承認ノ光榮ニ浴スルヲ得タリ三千萬民衆ノ喜ヒ何モノカ之レニ如カン、吾人ハ將來シ誓ツテ盟邦ノ期待ニ背カサラシコトヲ期ス、本日承認ノ祝典ヲ舉クルニ當リ遙カニ感謝ノ意ヲ表ス、今後尙ホ多端ナリ益々御援助ヲ祈ル。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

奉 天 分 會

一三、哈爾濱慶祝承認大會

友邦日本の滿洲國承認に依り新興滿洲國は華々しく國際壇上へ、登場の第一歩を踏み出したのであるが、

大哈爾濱市に於ては、此の歴史的記念日を祝する爲、八日午前十時より埠頭區公園に於て、盛大なる祝賀式を舉行した、開會二時間前より「滿洲國承認慶祝大會」の黄色の票を胸につけた市民陸續として會場に殺到未會有の大混亂を呈する中を、特警處、公安隊保安隊員等整理に忙殺され正十時に至るや嚴肅なる鈴の音と共に開會、全員起立、滿洲國軍樂隊の壯重なる奏樂裡に公園の樹木を壓して高く國旗の掲揚を終り、國旗に向つて全員三回の禮拜後張行政長官先づ立つて承認祝賀式の主旨を述べ、引き続き執政の敎書を恭讀、終つて呂市長の訓示あり、次に祝詞の朗讀に移る滿洲國側よりは李東鐵督辦、張景惠長官、呂榮寰市長、于仙舟護路軍副司令施履本外交特派員公署代表、日本側では廣瀬中將、武藤關東軍司令官代理小松原特務機關長、長岡總領事代理、高橋民會長その他次に滿洲國人會衆の「謹謝大日本帝國承認滿洲國」なる語を和唱、日滿兩國民全會衆天地に轟けとばかり日滿兩國萬歳を三唱この意義ある祝賀式を終え、直ちに豫定の如く旗行列に移つた。時正に十一時十五分、祝賀式に來り會する日滿兩國民實に無慮二萬五千と算せられた。

旗行列ノ盛觀

式終つて十一時十五分公園を發した無慮二萬五千の大群衆は手に手に五色旗を打ち振りながら涎々長蛇の列をなして公園よりキタイスカヤに出で斜紋街を抜けて立橋を亘り市政籌備所前を特務機關に至つて萬歳

を三唱、長官公署前、帥團司令部前にて萬歳を三唱、東鏡俱樂部に至つて最後の萬歳を三唱し未曾有の盛會裡に十二時四十五分散會した。

水も漏さず警戒

慶祝承認大會は別項の如く頗る盛會裡に無事終了したが、滿洲國側では萬一に備へる爲めに公園の式場の周圍には野砲迄も据え附けた程の嚴戒振りであつたが、我總領事館警察署に於ても警察官總動員で和久井警察部長自ら卷ゲートルにおつとり刀の物々しい、出立で全員を指揮し會場附近から旅行列の通路を警戒すると共に南滿の總領事館附近は勿論埠頭の派出所附近の辻々には武裝いかめしい警官の歩哨を配し、其間武裝警官の巡邏隊を幾組も巡回せしむ等水も漏らさぬ警戒振りであつた。

承認慶祝賀宴

午後三時より呂市長は日滿要人を東支俱樂部に招待して承認慶祝の賀宴を開催し熱誠なる慶祝の意を表した、尙ほ承認祝賀哈爾濱市民大會においては日本以外の各國の滿洲國承認を德意する意味において列國外務大臣及び國際聯盟に左の如き通電を發する事に決した。

決 議

今回日本國ノ吾國承認ニヨリ國家ノ前途モ確立シ茲ニ建國宣言ノ趣旨ニヨリ人種的偏見、排外的運動、匪賊ノ跳梁、軍閥ノ擄取ヨリ解放サレタル自由國ノ建設ニ邁進シ得ルコト、ナリ、吾等ノ歡喜コレニ過キタルハナン貴國モ速カニ吾國ヲ承認シ以テ極東及ヒ世界ノ平和ヲ計リ從ツテ各國人民モ機會均等主義ニヨリ事業ノ發達スル事出來ルヤウ吾等ノ理想實現ヲ冀讚アラシム事ヲ希望ス

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

哈爾濱分會

一四、吉林慶祝承認大會

吉林慶祝承認大會は八日各機關各團體各學校學生及市民代表約二千名參列し公衆運動場に於て盛大に舉行された、此日朝來の秋雨にも拘らず定刻前早くも式場は市民を以て埋められ午前十時振鈴と共に開會、恰も熙省長入京中にて不在の爲省公署秘書長李銘書省長を代表して式に臨し民衆教育館々長胡綿書司會の下に嚴

肅な式典が進められた、先づ吉林市政籌備處長程科甲氏開會の辭を述べ次で執政の敎書總理の訓辭恭讀、日本總領事其他來賓の祝辭あり次で市民代表の演說あり最後に王民政廳長の提議に依り別項の如き決議をなし吉林慶祝承認大會の名を以て英米佛伊、ソビエツトロンヤ、獨逸、波蘭諸國政府に宛て即日打電した右決議終了と共に程市政籌備處長の發聲で滿洲國の萬歳を三唱して散會、直ちに旗行列に移り全員雨を冒して全市各目抜の大路を游行した更に午後二時、省市合併の慶祝宴會舉行され吉林に於ける滿日各界要人殆んど全部出席し近來稀有の盛會を見た、此日吉林全市民演藝場其他遊樂機關は全部一般市民の爲解放され全市を擧げて慶祝の歡喜にひたつた。

程市政籌備處長ノ開會辭

本日ハ吉林省市民學ツテ大日本帝國ノ我滿洲國承認ヲ慶祝スル爲此大會ヲ舉行致シマシタトコロ滿日官紳ヲ始メ各地方團體、工商農學各界カラ此クモ多數參加ヲ得マシタコトハ吾人ノ衷心感激ニ堪ヘナイ所デアリマス、私ハ此機會ニ於テ一言所感ヲ述ヘ以テ開會ノ挨拶ニ代ヘタイト思ヒマス、我滿洲國ハ歴史及地理的關係ニ依リ友邦ノ援助ヲ得テ、成立未タ久シカラサルニ國基已ニ確立シ一切ノ政治ハ凡テ王道ニ基イテ施行サレルニ至リマシタ目下ノトコロ尙多少反動份子ノ騷擾アルモ遠カラスシテ城蕩サルヘク今ヤ我國三千萬ノ民

衆ハ舊政權時代ノ壓迫ノ痛苦カラ解放サレ眞ノ平和ト幸福ヲ迎ヘントシテイルノデアリマス、此時ニ當ツテ友邦日本カ世界各國ニ率先シテ我國ノ獨立ヲ承認サレタコトハ以ツテ我國ノ國際的地位ヲ高メ國基ヲ鞏化セシメル上ニ影響スルトコロ甚大テ誠ニ感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマスカ吾人ハ之ヲ慶祝感謝スルト共ニ、更ニ一層努力シテ一日モ早ク國際列國ノ承認ヲ得ルヨウ心カクヘキタト存シマス。

大同元年十月八日

吉林特別市政籌備處長

程、科 甲

日本總領事ノ祝辭

今日慶祝承認大會ノ盛典ニ列スルヲ得タノハ光榮ノ至リニ存シマス此機會ニ一言申述ヘ觀意ヲ表シタイト思ヒマス、日本帝國ハ此度滿洲國三千萬民衆ノ希望ニ副ヒ同時ニ兩國ノ親善並ニ東亞ノ和平ヲ促進センカ爲率先シテ滿洲國ノ獨立ヲ承認致シマシタ、蓋シ滿洲國ハ獨立宣布以來未タ半歳ナラサルニ上下一致萬難ヲ排シテ治安ヲ維持シ、行政ヲ確立シ産業ノ開發、諸般ノ制度改善等ニ著シイ進歩ヲ示シツ、アル次第テ此點ニ對シ帝國官民ハ異常ノ推服ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、此上共ニ滿洲國カ屢次聲明サレタ如ク内ニ王道協和

ヲ提唱シ外ニ對シテハ機會均等ノ原則ヲ以テ臨マレルニ於テハ久シカラスシテ世界ノ樂士タルコト疑フ容レ
ナイ所タト信シマス、帝國カ毅然トシテ滿洲國ヲ承認シマシタノハ以上ノ諸點ニ對シテ明確ナ認識ヲ持テ滿洲
國ニ對シ深イ敬意ト信仰ヲ持ツテ居ル表徴デアリコレハ管ニ日滿兩國ノ親善ヲ増進スルノミナラス、延イテ
ハ世界平和ニ對スル大ナル貢獻デアリマス、鄰邦中華民國ノ人民モ此新興滿洲國ノ健全急速ナル進歩發展ニ
對シテハ恐ラク多大ノ注意關心ヲ持ツヘク、ソノ結果ハヤカテ日滿華極東ノ三國カ完キ理解ト共助協力ニ依
テ東洋ノ文化發揚ニ邁進スルニ至ルデアラウト信シマス、滿洲國ハ日本帝國ノ承認ヲ得テ國際法上已ニ獨立
國家トシテノ人格ヲ完備シタノデアリマスカ、更ニ日滿兩國々民カ今後遠大ナル抱負ト高遠ナ理想ヲ持テ前
途ニ横ル幾多ノ難關ヲ切抜ケ以テ全亞細亞民族將來ノ爲奮闘努力サレンコトヲ希望致シマス、茲ニ在吉林日
本官民ヲ代表シテ滿洲國ノ萬福ヲ謹祝致シマス。

大同元年十月八日

吉林日本總領事

決 議

吉林省官吏人民ハ本日日本帝國ノ滿洲國正式承認ニ對シ慶祝承認大會ヲ舉行シ同時ニ極東ノ平和維持

三三

ニ努力シ以テ滿洲國在住民民族共和ノ精神ヲ實現センコトヲ決議セリ冀クハ貴國官民カ吾人ノ目的達成ニ對シ十分ノ協力ト支持ヲ與ヘラレンコトヲ望ム。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

吉 林 分 會

一五、錦洲慶祝承認大會

錦洲に於ける滿洲國慶祝承認大會は八日午前九時より公議會に於て盛大に舉行され、國旗掲揚に依て開會され一同國旗に向つて三鞠躬の禮を爲し縣長代理郭總務科長開會の挨拶を爲し李教育科長執政の教書を恭讀し、次で國務總理の訓辭は郭總務科長誦讀し縣民代表及日本側代表の視辭あり、終つて左の如き大會決議を通過し萬歳を三唱して閉會した因に此日日本側からは西〇團長代理小林參謀長、鈴木〇團長代理以下約百名參列した更に午後二時より城内得味齋に於て盛大なる祝賀宴催され參會者百餘名頗る盛會であつた。

決 議

錦州市民ハ本日日本帝國ノ滿洲國正式承認ニ對シ慶祝大會ヲ舉行シ日本以外ノ列國カ速ヤカニ滿洲國ヲ承認スルヤウ希望スル旨決議スルト共ニ貴國官民カ一致シテ協助ヲ與ヘラレンコトヲ切望ス。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

錦州分會

右決議は即日英米佛伊獨、ソビエトロシア及波蘭各外務大臣宛に打電された。

一六、齊々哈爾慶祝承認大會

齊々哈爾慶祝承認大會は八日盛大に舉行され政、法、軍、警、紳、學、農工商民各界參會者一萬を越へ別項の如き順序で式を進め日本の滿洲國正式承認を慶祝し引續き列國の承認を促進する爲左の如き通電を英米各國に向け發出することを決議し最後に滿洲國の萬歳を三唱して散會した。

式典ノ順序

一、振鈴開會

- 二、奏 樂
- 三、全體起立
- 四、省長以下全體官民國旗に向つて三鞭躬
- 五、建國歌の合唱
- 六、執政の教書恭讀
- 七、國務總理の訓辭恭讀
- 八、省長の開會辭
- 九、來賓の祝辭
- (一) 松木師團長
- (二) 内田領事
- (三) ソビエツトロシア領事
- (四) 日本人民會長
- (五) 朝鮮人民會長
- (六) 商務總會長

上、來賓の演説

(一) 青年代表

(二) 地方有力者代表

(三) 宣傳部代表

(四) 男學生代表

(五) 女學生代表

十一、決議及通電

十二、省長の發聲に依り滿洲國、日本帝國及黑龍江省民衆の萬歳を三唱

十三、奏樂

十四、散會

決 議

一、既ニシテ日本ノ正式承認ヲ得テ滿洲國ノ國基ハ愈々鞏固ヲ加フ凡テ我國民ハ今後對内的ニハ建設
ニ努力シ對外的ニハ應ニ友邦ト提携シ滿日親善ヲ促進シ以テ共存共榮ヲ期ス

二、英、米、佛、伊、ソビエツト、ロシヤ、獨、及波蘭諸國ニ對シ國際慣例ニ依照シ公道ヲ主張スル爲
繼續シテ我國ヲ承認センコトヲ促進スル

三、本日ノ大會ノ模様ヲ記錄シテ各關係機關ニ配付スルト共ニ新聞ニ發表シテ國人ノ注意ヲ喚起ス。
右決議ス、

大同元年十月八日

齊々哈爾民衆大會

通 電

市民大會ノ決議ニ依リ大日本帝國ノ我滿洲國正式承認ヲ慶祝シ此先例ニ依リ各國相繼テ承認シ與ヘ
我國民人ノ熱望ヲ實現シ凡テ我國内在住ノ各國人民シテ一律ニ門戶開放並ニ機會均等ノ利益ニ均霑
シソノ幸福ヲ享受セシメルヤウ貴國官民ノ御支援ヲ切望ス。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

齊 々 哈 爾 分 會

一七、安東慶祝承認大會

八日重陽節當日の佳節を下して安東では盛大に慶祝承認大會を開催したが、此の日安東縣舊市街一帯はさはやかな秋風に各戸には新國旗が翻へり、今日の佳き日を祝福してゐる、アーチとイルミネーションに飾られた松飾門も四ヶ所に設けられ午前九時元寶山公園下には市民一萬集合して莊重な奏樂裡に國旗掲揚、縣長開會の辭、執政教書、國務總理訓詞の恭讀、日本領事代理、天津安東市民會長代理、協和會清水氏等の祝詞の後、演說會に入り左の如き決議を米、佛、獨、英、伊、露、波各國に宛て打電した。

安東民衆ハ今日日本國正式承認滿洲國慶祝大會ヲ舉行スルト同時ニ決議ヲナシ貴國政府カ日本帝國ノ後ヲウケテ速ニ滿洲國承認ノ運ヒニ至ルヲ切望ス。

大同元年十月八日

滿洲國承認慶祝大會安東分會

なほ日本帝國へは首相、陸相、外相に宛て

御承認ヲ謝ス、滿洲國ノ將來益々固シ

安東縣官民一同

三九

1316

との感謝電を發し、日滿兩國の萬歳を三唱して旗行列に移つたが、滿洲側各學生が日本領事館、滿鐵事務所向つたところ日本側各學校は朝日小學校を初めとし、大和小學校、安東中學校、高等女學校生徒等手に滿洲國旗を翳しつゝ、縣公署前に整列滿洲國萬歳を三唱、王縣長の挨拶あつて引擧げたが、滿洲一帯は日滿親和の和やかな空氣が漲り滿洲人としての意氣と甦生があふれた。

四〇

一八、營口慶祝承認大會

營口に於る滿洲國慶祝承認大會は十月八日午前九時縣公署に於て開會日滿官民代表の參列者に百餘名に及び近來稀に見る盛大であつた。殊に滿洲國官民の歡喜は絶頂に達し左の如き順序で式典が舉行された。

- 一、參列者着席
- 二、奏樂
- 三、國旗に向て敬禮
- 四、縣長の開會辭
- 五、執政の教書（縣長恭讀）
- 六、國務總理の訓辭（教育局長誦讀）

- 七、來賓の祝辭
- 八、決議
- 九、萬歳を三唱
- 一〇、閉會辭
- 一一、紀念撮影

決議

我滿洲國ハ本年三月政府成立以來建設ニ努力シ今回日本帝國ノ正式承認ヲ得タルカ、願クハ列強諸國力連ヤカニ承認ヲ與フルヤウ貴國朝野ノ御支援ヲ望ム。

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

營口分會

右決議は大會委員會の手で即日英米佛伊獨ソビエトロシヤ、及波蘭諸國外務大臣に宛て打電され別に日本に對しては齋藤總理大臣内田外務大臣及荒木陸軍大臣宛に左の如き承認感謝の電報が發せられた。

謝電

四二

此度我滿洲國ノ成立ニ對シ貴國カ率先承認ヲ與ヘ世界ニ範ヲ示サレタコトハ、國際的ニ我國ノ聲價ヲ高メ我國基ヲ鞏固ナラシメルモノテ深ク感謝ノ意ヲ表ス

大同元年十月八日

滿洲國慶祝承認大會

營口分會

右終つて慶祝宴に移り最後に縣長の發聲にて滿洲國の高歳を三唱して午前十一時過ぎ散會した。

一九、其他各地に於ける慶祝承認大會

(二) 鐵嶺慶祝承認大會

鐵嶺にては舊曆重陽節の本月八日午前十時から南關の中學校講堂に於て承認慶祝大會を舉行し先づ全市六千小中學男女學生の運動會を午前十時から始め各種趣向を凝らした遊戯舞蹈に觀衆を歡ばす筈であつたが折

1319

悪しく夜來の秋雨歇まず運動場も附近の街路も泥濘となつて止むなく運動競技は後日に延期し午後一時から祝賀會をのみはじめた、日滿文武官民各界代表及び各學校教職員中學生徒等は雨中をいとはず多數參會した軍樂又は古雅な奏樂あり慶祝歌を合唱し一同大國旗に敬禮したる後楊縣長式辭を兼ねて開會の挨拶を述べ阮教育局長は執政の教書を鄭教育會長は鄭國務總理の訓示を朗讀した、引續き石塚領事は我來賓を代表して祝辭演説し前田事務所長は祝文を朗讀した次に常商務會主席、石農務會副會長、鄭教育會長、阮教育局長、財務局長、警務局長代理其他の祝詞あつて奏樂裡に式を終り直に開宴一同乾杯萬歳を唱和して散會した近來稀有の盛會であつた。

(二) 瓦房店慶祝承認大會

滿洲國承認慶祝大會は重陽節の佳節を下して十月八日午前十時より復縣公署内に於いて日滿名士各學校國境監視警察隊公安隊等參列し頗る嚴肅裡に舉行された當日は氣遣はれた天候も午前九時頃より晴れ渡り清められた公署は門前に日滿大國旗を交叉し正服すがた厳めしき官吏の出入する様、何となく靜肅なる氣分滿ち／＼て居る定刻前日滿名士を初め各團體八方より集まり公署内は立錐の餘地なく定刻(午前十時)日滿官民代表は會場に整列し李縣長代理として張實業局長の辭を述べ續いて恭讀執政教書恭讀總理訓詞(張實業局長

代讀) 來賓祝詞(大内警察署長、越智地方事務所長、縣長祝詞(張實業局長代讀) 荒川參事官祝詞人民代表祝詞(孫德幸)一同敬禮式終る

國旗 揚揚式

復縣公署庭前に一同整列し嚴なる奏樂裡に張實業局長の手により大國旗が竿頭に掲げられ一同大滿洲國の萬歳を三唱し十一時式終る

祝宴

慶祝々賀會は午前十一時より縣公署會議室に於て開催された參列者は日滿名士約一百五十名にして張實業局長開會の辭を述べ宴に移り和氣あい／＼一同歡をつくして十二時過散會した
因に市中は各戸日滿國旗を軒頭に掲げ慶祝氣分に満たされて居つた

(三) 敦化慶祝承認大會

全滿一齊に舉行された八日の滿洲國承認祝賀會は折柄なる雨のために甚だしく出足を鈍らせ氣勢を殺がれたが然し定刻の十一時には會場たる城内祖師廟前廣場に滿洲國官衙要人を初めとし同國軍隊一般居住民等ひし／＼とつめ掛け今や遅しと其の開會を待つた、やがて爆竹數發の合圖と共に各員整列劃たる軍樂吹奏裡に

五彩の鮮かなる満洲國々旗は天空高く掲揚せられた、次いで當祝賀大會主席張團長の祝詞（財務局長代讀）あり終つて一同新國旗を仰いで嚴肅なる三拜の禮を行ふ歩兵第四聯隊長森尻大佐は邦人參列者を代表して簡單なる祝辭を述べ滿洲人側之に對へて謝辭、次に滿洲國萬歳は力強く三唱され再び起る軍樂の吹奏と共に全く祝賀の式を閉ぢた、式終つて後直に旅行列に移り軍樂隊を先頭に雨を衝いて市中を行進した狀は勇ましくも亦晴々しきものであつた

（四）大石橋慶祝承認大會

慶祝承認大會は海營各縣公署並に大石橋街商務會協和會大石橋工作員主催に依て豫定の通り八日午前八時より大石橋街興業場前廣場にて滿洲國各官公署、小學校兒童其他官民合同國旗掲揚式を舉行し八時半より興業場にて慶祝式典を挙げ國旗に最敬禮の後分局長より執政教科書並に國務總理の訓詞朗讀、九時三十分より興業場前廣場に集合日滿大國旗を先頭に小學校兒童、商務會其他一般市民の順序にて各自手に手に國旗を打ち振り旅行列、大石橋街より附屬地に行進、守備隊、憲兵隊、警察署、大石橋神社を巡歴、驛郵便局等にて承認感謝の意を表し萬歳三唱長蛇の如き旅行列は頗る盛大に終了を告げた。

講演と祝賀宴

大石橋街慶祝大會は八日舉行され十一時より興業場にて祝賀講演と祝賀會が催され、日本側官民有志多數を招待、王氏より開會の辭あり協和會支部長不在の爲め美座氏代つて挨拶し平尾所長、原田署長、小林地委課長等より祝辭あり祝宴に移り日滿兩國人和氣霽々極めて盛會裡に十二時閉會した、因に大石橋街各戸は國旗を掲げ休業し馬車人力車も國旗を樹つて祝意を表した。

(五) 四平街慶祝承認大會

四平街に於ける滿洲國承認祝賀式は八日午前十時より附屬地公學校講堂に於て行はれた豫定は鐵道東第一小學校に於て舉行の筈なりしを雨天の爲め變更されたものにて定刻五分前學校生徒其の他日滿參列者百數十名指定の席に着き刻限到るや司會者の宣言に依り振鈴、樂隊の奏樂、爆竹、學生の國歌合唱、國旗禮拜（日滿參列者前方に進み三鞠躬の禮を捧ぐ）次で主席曲縣長執政の教書及國務總理の訓詞を代讀、次に曲縣長祝詞に代ふるに左の如き演説をなせり

本日ノ祝賀式ハ滿洲國ノ承認ヲ受ケタ祝賀式デアツテ普通ノ祝賀ト異リ最モ目出度イ意義アル祝賀デアラルカラ吾々ハ舉ツテ出來得ル限り祝意ヲ表シ隣邦國ノ厚意ニ感謝セネハナラス、其ノ意味ニ於テ祝賀式場其ノ他ノ準備モ調ヘテアツタノデアルカ折悪シク雨天ノ爲メ豫定變更ノ止ムナキニ至リ設備萬端不行届ニテ

甚々恐縮ノ次第ナルカ不惡御諒察ヲ願ヒマス、曩ニ滿洲國ハ建國ノ祝賀ヲ致シマシタカアノ時ハ丁度幼
兒カ出産シタ時ノオ祝ト同シテ目出度イコトハ目出度イケレトモ其ノ子供カ果シテ立派ニ育ツタカトウカ
ト言フ疑問カアツタノデアリマスカ幸ニ保育ヨロシキヲ得タル爲メ順調ニ發達ヲ遂ケ茲ニ正式承認ヲ得ル
ニ至リ國家ノ基礎益々鞏固ナラントシ今ヤ滿洲國ノ前途ハ輝キト希望ニ滿チツ、アリマスカ併シ此ノ欣ヒ
ノ半面ニ頗ル憂フヘキコトハ今尙匪賊ノ各所ニ出沒シ到ル處ニ於テ掠奪、虐殺ヲ擅マ、ニナン人民ヲ苦シ
メツ、アルコトニテ現ニ吾カ梨樹縣下ニ於テモ、最近匪賊ノ出沒頻繁ナル爲農民ハ收穫ヲモ爲シ得ス戰々
恟々タル有様ニテ、當局ニ於テモ之レカ討伐治安維持ニ努メツ、アリト雖モ力及ハス今自此ノ狀態ニアリ
冀クハ隣邦ノ御援助ニ依リ徹底的ニ彼等匪賊ノ討滅ヲ期シ日滿ノ提携ニ依リ王道ノ光ヲ普ク世界ニ發揚以
テ我カ滿洲ヲ永遠ノ樂土境タラシメラレシコトヲ切望シテ止マサルモノナリ。

次に日本側林憲兵隊長、山岸地方事務所長の祝詞あり曲縣長、山岸地方事務所長共に登壇滿洲國並に日本帝
國の萬歳を三唱降壇、樂隊の奏樂、學生の唱歌を最終とし次に曲縣長外滿洲國側參列者と日本側參列者相對
固き固き握手が交され十一時十分式を終れり同日午後五時より同所に於て日滿人二百餘名一堂に會し盛大な
る祝賀宴開かる主客席定まるや曲縣長の懇懇なる開會の挨拶あり之に對し山添市民會長日本側を代表し熱辯
を以て滿洲事變の動機、滿洲の歴史、日滿の提携、滿洲國の將來等に付感想を述べて答詞に替へ一齊盃を舉

げて酒宴に移るや日滿の美妓數十名宴席に興を添へ酒間の斡旋宜敷を得たる爲め宴酣にして其盡くるを知らず殊に當日の餘興たる鱗本店の出しもの「老松」は當日の祝意を表するに足りお手に入つたものとの高譚あり、次で松尾の「レビニュー」は時代に適應新人垂涎の的となり之亦大喝采裡に幕が閉ざされ次は大物支那劇にて例の耳も聳せん斗りの銅鑼と胡弓の音に伴れ入り替り相次ぐ劇のテーマは少からず感動、興味を與へ劇は約半時にして幕が閉され之れを潮時に山岸地方事務所長の發聲にて滿洲國の萬歳を三唱散會した、時に午後七時二十分

(六) 橋頭慶祝承認大會

橋頭に於ける承認慶祝大會は八日午前十時より左記に依り西衙高級小學校に於て日本側官民有志廿餘名を來賓として行はれたが滿洲國側も學童を初め有志多數が出席頗る盛會を極めた

會 序

- 一、會長執告
- 二、全體會員國旗行三鞠躬禮
- 三、會長祝詞
- 四、來賓祝辭(前田驛長)
- 五、會長致謝詞
- 六、學童唱歌
- 七、全體會員歡呼滿洲國萬歳
- 八、茶點
- 九、持旗遊行

(七) 本溪湖慶祝承認大會

本溪湖公署主催の滿洲國承認祝賀式は今日午前十時より縣公内庭に於て秋雨を降る中に舉行した、主催者側は陳縣長、小島參事、李本溪湖法院檢察監督、司法安隊長、常警察局長、鐘教育會長、宮崎副參事、小林囑託其他の各代表、日本側は野坂軍部代表、大岩地方事務所長、牧田警察署長、西山憲兵分遣隊長、堀山科長、石井郵便局長、田城校長、地方委員各區長其他の有志多數參列陳縣長の開式の辭國旗の掲揚、一般の敬禮、執政教書、國務總理の訓詞は李本溪湖法院檢察監督代讀、陳縣長、李法院監督、野坂軍部代表、大岩所長、牧田署長の各熱烈なる祝詞終つて陳縣長の閉會の辭と共に當日の承認祝賀式はいつも盛大嚴肅に執行された、夫れより縣公署内に於て茶菓の饗應あり午前十一時頃散會した更に滿洲國承認祝賀會は八日正午十二時より公會堂に於いて閉會來會者、日滿兩國官民無慮二百三十名に達するの盛況にて鐘協和會副會長の閉會の辭に次いで大岩地方事務所長は日本側を代表して承認所感並に祝詞を述べ夫れより閉會日滿兩國美妓の舞踊滿人美妓獨特の美聲に日滿兩國參會者を喜ばせ非常の盛會理に午後一時前散會した

(八) 遼陽慶祝承認大會

遼陽にては八日の重陽節に際し政府の指令に基き祝賀式を舉行し楊縣長各會代表有力者各課長警務局、大隊長參列し滿洲國旗に對し最敬禮をして萬歳を三唱散會した、此日各學校官廳等は一般休業した

五〇

(九) 撫順慶祝承認大會

撫順縣公署では八日の重陽節を下して日本が滿洲國承認の祝賀會を午前十一時より左により盛大に舉行する事に決し夏縣長は日滿官民多數に列席方案内狀を發した式了後參列日滿人の大懇親會を福合樓に於て開催し各人互に協和し懇親の實を全くし情味ある會合を見た

慶祝儀式

- 一、奏樂
- 二、縣長率全體人員入場
- 三、來賓入場
- 四、奏樂
- 五、縣長式詞
- 六、縣長率全體人員向國旗行三鞠躬禮

- 七、縣長代表新國家受賀
 - 八、外賓致祝詞
 - 九、縣長答詞
 - 一〇、縣長率全體人員三呼萬歲
 - 一一、奏樂
 - 一二、攝影
 - 一三、禮成
- 傳單標語
- 一、慶祝日本承認滿洲國
 - 二、促進列國正式承認
 - 三、王道政治從此發揚
 - 四、內謀建設外求承認
 - 五、民族協和四海昇平

- 六、增進富強完成樂土
- 七、欲各國之承認須先自謀強
- 八、道不在遠著實邁進
- 九、喚醒國民精神力謀真正獨立
- 、天產滿洲國意在行王道
- 一、結合民族精神、力求列國承認
- 二、認真盡所能、實現理想境
- 三、一步々建設和平境
- 四、掃滅匪患確立和平
- 五、照事實宣明全世界以王道要求我獨立
- 六、努力履行國際義務盼望列國爭先承認
- 七、內以民衆幸福爲標的、外以國際親善爲宗旨
- 八、慶謝日本首先承認滿洲國
- 九、東亞建設的光明、是世界和平的先導

- 二〇、日滿兩國的提携，是東亞和平的關鍵
- 二一、慶祝滿洲國之基之確立，開世界史上的新紀元
- 二二、努力履行國家義務，盼望列國爭先承認
- 二三、慶祝東亞民族之携手，王道建設之成功
- 二四、日本承認滿洲國，是東亞民族的大光榮
- 二五、日滿之結合是世界大同的前提
- 二六、感謝，慶祝日本首先承認滿洲國
- 二七、門戶開放，共存共榮
- 二八、打倒萬惡軍閥肅清全境土匪
- 二九、同歌舜日共樂堯天
- 三〇、從此實現王道仁政
- 三一、謀實業之開發爲今世之桃源
- 三二、從此撥雲見日，可觀王道仁政

一、旭光遍照滿洲國
從此世界化樂土
二、日本承認滿洲國
拓開史上新紀元
三、釘鏢的鐘聲由東方來
親愛的兄弟們快起來

五四

1331